

国光外務副大臣主催日ブータン外交関係樹立 40 周年・
トブゲー・ブータン首相訪日記念レセプション 国光副大臣挨拶
令和8年3月 16 日(月) 於:飯倉公館

トブゲー・ブータン首相閣下、ドマ令夫人、御列席の皆様、

こんばんは。クズザンポーラ(ブータンのゾンカ語で丁寧な挨拶)。
外務副大臣の国光文乃です。

本日は、日ブータン外交関係樹立 40 周年及びトブゲー首相御夫妻訪日の記念レセプションに御出席いただき、誠にありがとうございます。

外交関係樹立 40 周年という記念すべき節目を、トブゲー・ブータン首相閣下をお迎えして共に祝うことができ、大変光栄です。首相御夫妻の訪日を心から歓迎申し上げます。

今から 40 年前の 1986 年3月、日本とブータンの間で外交関係が樹立されました。しかし、これが両国の交流の始まりではありません。

1964 年、まだ両国間の国交がなく、外国人がブータンに入国すること自体が珍しかった時代に、農業専門家として、西岡京治(にしおか けいじ)氏が派遣されました。

西岡氏は、現地の農業技術の強化・発展に尽力し続け、外国人として初めて「ダシヨー」の称号を授与されました。その称号を有する外国人は、今日に至るまで、西岡氏一人だけと承知しています。

現在では、「ダシヨー西岡」氏の精神を受け継いだ日本人が、各地でブータンの方々に寄り添いながら、ブータンの発展のために、それぞれの専門分野で活動しています。

本日は、日ブータン友好議員連盟の先生方を始め、日ブータン関係を後押ししてこられた皆様や、日本で幅広く活躍されている在留ブータン人の皆様が御出席くださっています。

皆様の日頃からの御尽力に対し、改めて深い敬意と感謝を申し上げます。先週金曜日の日ブータン首脳会談において両首脳で一致しましたとおり、日本政府としても、外交関係樹立 40 周年の機会を捉え、両国関係を一層強化していく所存です。

最後に、トブゲー首相及びドマ令夫人、ブータン国民の皆様の更なる繁栄、日ブータン関係の一層の発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。
カディンチェラ。（ゾンカ語で、ありがとうの意。）

（了）